

NISHINOHOSHI

西の星

NISHINOHOSHI
is a genuine distilled spirit
produced from carefully selected barley
of which name "Nishinohoshi"
and clean, fresh groundwater.



大分県産大麦「ニシノホシ」使用

飲酒は20歳を過ぎてから、お酒はおいしく適量を、妊娠中や授乳期の飲酒には、気をつけましょう。飲酒運転は、絶対にやめましょう。

三和酒類株式会社
〒879-0495 大分県宇佐市山本・虚空蔵寺丁
TEL.0978-32-1431 (代) FAX.0978-33-3030
https://www.sanwa-shurui.co.jp

「直感的に一緒にやるならこの人だと思いました」 — 〈白砂〉

芦塚さんとは、初めてお会いしたときから意気投合して、中国や台湾に行かれるときに私がついて行ったりして、旅友達のような関係がしばらく続きました。その途中では、他愛のない話もしますがビジネスの話も聞かせていただいて、常々「ビジネスセンスのある人だなあ」と感じていました。

2018年ごろ、自身が立ち上げた九州レップが軌道に乗ってきたので、念願だった不動産開発の会社を立ち上げようと決意しましたが、私には開発事業の経験がなくパートナーが必要でした。その時に真っ先に頭に浮かんだのが芦塚さんの顔でした。思いつくと同時にスマホを握り事情を説明すると、即座に「やろう」と返事をしてくれました。

芦塚さんは、四字熟語でいうと『即断即決』の人です。事業上の問題点を瞬時に見極め、フレキシブルに考えスピーディーに最適解を出してくれます。長く開発に携わってきた人ですから、不動産売買を中心にやってきた私にはないモノ（建物）づくりに対する考え、価値基準がしっかりあって、そうした芦塚イズムが会社に根づいています。あの時に、まず芦塚さんをお願いしようと感じた直感は、間違っていなかったと思います。今後もお互いを補完し合いながらやっていければと思っています。

「ビジネスの判断基準とスピードが一緒」—— 〈芦塚〉

白砂さんと出会って初めのころ、不動産売買の仲介をお願いしたことがあるのですが、その時の仕事の進め方が実に合理的かつ誠実で、「この人はスマートなだけでなく細やかな思いやりがある」という印象を強く持ちました。ですので「一緒に開発をやりませんか」というお誘いをいただいたときには嬉しくて、ほんの10秒話して「是非やりましょう」と返事をしました。友人関係にも信頼関係は必要ですが、事業を一緒にやるとなるとビジネスに対する価値観が近いかが重要です。

白砂さんは、不動産の流動化に関する知識・ノウハウが豊かで、そこが国内外の不動産ファンドと取引する際の大きな強みになっていますが、それだけではなく不動産業界におけるネットワークも広く、他社に先駆けて開発情報を仕入れてきてはプロジェクト化するスゴ腕です。販売先も白砂さんが独自のルートで発掘してきます。つまり、入り口と出口は白砂さんの領域です。一方、私は真ん中の開発部分を担当します。開発物件の収支がある程度計算できて、物件周辺の環境によってはコストが高くなる可能性も出てきますので、その時はプロジェクトそのものを取りやめることを提案することもあります。今後はプロジェクトの規模をもっと大きくしたいですね。

Two of Us

ふたりの出会い



白砂 光規 九州レップ 社長
しらすな・みつりのり/1974年9月3日生まれ。97年三井信託銀行（現三井住友信託銀行）入行。2002年GEリアル・エステートに転進、不動産投資・売却を担当。10年福岡市に投資用不動産の売買仲介を行う九州レップを設立。18年芦塚氏らと不動産開発の九州デイベロップメントを設立、社長に就任して現在に至る。

白砂氏の主な事業エリアは福岡都市圏、芦塚氏は長崎県内で、事業内容も前者は不動産売買仲介、後者は分譲マンションの販売と接点はないように見える。だが、白砂氏はカンボジアで、芦塚氏は中国・上海での事業展開に乗り出し、精力的に行き来する二人を、「おもしろい人物がいる」と地元銀行の融資部長が引き合わせた。以来、旅友達として親交を深め、お互いを認め合った二人は、18年に不動産開発の九州デイベロップメントを設立、社長・会長としてタッグを組む間柄になった。

芦塚 恒丈 芦塚不動産 社長
あしづか・つねたけ/1966年12月21日生まれ。90年野村不動産株式会社に入社。分譲マンション開発に従事。2000年家業の芦塚不動産株式会社に入社、07年社長に就任。長崎県内にて自社ブランド分譲マンションを展開する傍ら、一時期は中国・上海で建物内装設計・施工の事業を展開。18年から九州デイベロップメント会長。